

# 千年の森便り No.129

2014.5.22

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

5月18日(日) 快晴

この日は、「里山の日」協賛の「里山イベント」として参加者募集した春の豊英島と清和県民の森を楽しむハイキングと、君津市で開催の里山シンポジウムの2つのイベントに分かれて活動を行いました。ハイキングの参加者は、鶴沢・大原・栗山・坂本・高橋(洋)・田島・根本・福島・降幡・松田・真鍋・村野・山口の会員13名に、君津の小山夫妻、市原の松浦さん、四街道の市原さん、佐倉の中野さん、座間市から遠路参加の上田さんをお迎えして総勢19名。里山シンポジウムと日程が重なり、応募者が少なく開催が危ぶまれましたが、お天気もよく、ご参加いただいた方からは「新緑の絶好のハイキング日和に恵まれ、県民の森-豊英島の散策は気持ちよく楽しかった」との感想もいただき、楽しい時間を過ごすことができました。ご参加の皆さま、お世話いただいた会員の皆さま、お疲れ様、ありがとうございました。里山シンポジウム参加の様子は3頁をご覧ください。(真鍋)



### ○清和県民の森～豊英島までのハイキング

清和県民の森駐車場から豊英島までの林道を歩くハイキングの道案内をしました。当日の参加は会員とお客様を合わせ19名でしたが、会員3名は受け入れの準備作業等のため先に島へ直行し、福島さんには緊急時対応および歩行困難者が出た場合に備えて、車で伴走してもらいました。

天候は申し分ない五月晴れ、深みを増した新緑に野鳥の囀り、色とりどりの花々が一行を歓迎しているようでした。

私が聞いた鳥の声はキビタキ、ホトトギス、ウグイス、メジロ、ヤマガラ、シジュウカラなど10種以上ですが、期待のオオルリが見られなかったのが心残りです。

花はハンショウヅル、ジャケツイバラ、オオバウマノスズクサ、コケリンドウ、ヤマツツジが印象的でした。

道中では会員も一般参加の皆さんもそれぞれの関心事について教えたり、教えられたりで和気あいあいだったように思います。いつもの事ですが、つつい観察に夢中になって島への到着時間が遅くなって午後の予定が押し寄せになるので最後は福島さんの車で強制収容で島へピストン輸送してもらいました。



モウセンゴケに感動の一行



ハンショウヅル 5/18 坂本



コケリンドウ 5/18 栗山

直行組は私たちの到着見込時間に合わせて、トン汁の準備をしていただいたので、出来立てのアツアツを美味しく頂きました。会員のお・も・て・な・しで遠来のお客様にも喜んでもらえたと思います。(坂本)

### 松田会員のFaceBook5/19より一部抜粋 (写真掲載を一部省略しました)



18日はちば千年の森をつくる会の公開観察会でした。左はツツジと蝶の関係を説明する坂本さん。コケリンドウがモウセンゴケと同居していました。コゴメウツギは満開でした。ジャケツイバラ(右)の枝にはバラのようなトゲが異方向に付いているので、一旦これに絡まると、無傷での脱出は不可能なので「蛇が絡む茨」からの名前の由来です。



ジャケツイバラ 5/18 松田

キノコはゴムタケ(右)を見つけました。全体がゴムのようにプヨプヨしていて、真っ黒なキノコです。こんなグロテスクなキノコですが、食べられます。一度湯こぼしをして、二杯酢でいただきました。うん！これはいけるぞ！



ゴムタケ 5/18 栗山

### ○おもてなし準備

準備班はホテイ岬に出始めたホテイチク筍を採り、巨木林でサンショウの新芽を集め、下拵えしてきたトン汁に加えて、ハイキング組の到着と同時に出来上がり。今回は、市原の松浦さんが全員に手際よく盛り分けてくださり、皆で美味しく頂きました。この日はキクラゲやきゃらぶきなど山菜の煮物や食後のスイーツの差し入れ、ホットコーヒーのサービスもあり、会話も弾む楽しい昼食でした。(真鍋)

豊英島「公衆トイレ」の改装を行いました。竹垣が朽ちて隙間だらけでしたが、内側をヨシズ張りにてリニューアルしましたので安心してご使用になれます。尚、「粉殻活性炭」を備え付けてありますので使用後に散布してお使い下さい。(根本)

### ○豊英島の植物

昼食後は各方面に分かれ、豊英島の散策と植物観察等行いました。4月末に自生を確認したユウシュンランの多くは消えていましたが、数株は健在で小さな果実を着けていました。ホテイ岬にツチアケビが3年ぶりに2株芽を出し蕾を着けていました。ツチアケビは巨木林保護柵内に2株、千年広場脇には見当たりません。ガマズミやマルバウツギは白い花を咲かせていました。(真鍋)



ユウシュンラン 5/18 小山

### ○センサーカメラの動物

5月14日撮影のニホンジカ 妊娠しているのでしょうか お腹が大きいように見えます。(坂本)



ニホンジカ 5/14 センサーカメラ

### ○昆虫観察(清和県民の森～豊英島) 芋虫・毛虫ウォッチング！

芋虫・毛虫の季節がやってきました！チョウやガの幼虫が若葉をもりもり食べています。苦手な方も多いと思いますが、子育てをしている野鳥にとっては、大切なエサとなります。芋虫・毛虫は、鳥に見つからないように目立たなくふうをしています。「これって虫？」クロモンキリバエダシヤクの幼虫は、葉の裏で茶色の体を折りたたんで棘のある枯葉？に化けていました。ヒメヤママユの幼虫は緑色で目立たず、ハスオビエダシヤクの幼虫は小枝そっくり。しかしながら、あえて目立とうとする幼虫もいます。ヒョウモンエダシヤクの幼虫は、アセビを食べ毒を体にためているために派手な色をしています。



クロモンキリバエダシヤクの幼虫



ヒメヤママユの幼虫



ヒョウモンエダシヤクの幼虫



ハスオビエダシヤクの幼虫

(豊英島で観察された昆虫) ジャコウアゲハ、コジャノメ、マイマイガ(幼虫)、ヒメヤママユ(幼虫)、ホタルガ(幼虫)、ヒョウモンエダシヤク(幼虫)、ハスオビエダシヤク(幼虫)、アカバキリガ(幼虫)、ヨツボシホソバ(幼虫)、エゴツルクビオトシブミ(揺籃)、ムナビロアカハネムシ、クサギカメムシ、アワフキムシ sp(幼虫)、キンケハラナガツチバチ、ムモンホソアシナガバチ、クリタマバチ(クリメコブズイフシ)、ムネアカオオアリ、アリノスアブ、オオイシアブ、チャタテムシ sp(幼虫) (田島)

(写真はいずれも 5/18 田島さん撮影)

今日は、清和県民の森、豊英島へご案内頂き誠に有難うございました。有意義な一日でした。万歩計は 12,600 歩を越えました。幹事の方々、会員の皆様に感謝申し上げます。野鳥の声に耳を澄ませることが出来、植生の色々の姿を教えて頂き、今日の好い日、環境の好さにただただ感謝です。誠に有難うございました。(5月18日)

〇里山シンポジウムで活動をPR



第 11 回里山シンポジウムは大盛況



伊藤事務局長は冒頭で「千年の森」紹介



久我代表夫妻は元会員と旧交温め

5月18日(日)「第11回里山シンポジウム in 君津」が君津市生涯学習交流センターで開催され、用意した資料が足りなくなる大盛況でした。

ケビンショートさんの基調講演「里山のにぎわいを創りだす力」を始め、君津市内で森林・里山活動を行っている8団体、自然を生かした街おこしに取り組む3団体の事例報告、更に分科会報告、そしてシンポジウムのまとめ討議と、朝から夕方までびっしりのスケジュールでした。台湾の里山行政関係者との交流もありました。

当会からの参加者は、久我代表夫妻、新井孝男(主催側)、岩崎夫妻、新井通子、伊藤(発表)の7名に、元会員の松本さん、甲斐さんに久我さん友人の3名を加えて10名でした

当会は、事例発表のトップバッターを仰せつかりました。10分間との制約があったことから、生物多様性保全の取り組みにポイントを絞り、動植物調査はじめ各種調査を地道に継続し、実態を把握したうえで森に手を入れていることを強調しました。ロビーのポスター、チラシの展示も好評でした。これを契機に一人でも地元の会員が増えることを願っています。(伊藤)

お知らせ

〇 6月の定例活動日 6月14日(土曜日)9時30分県民の森駐車場集合、シカ個体数調査、ヒメコマツ周辺下刈、水辺環境整備、倒木処理、植物調査、野鳥調査に加え、5月に積み残したギャップ林整備やマダケ調査もあり仕事が山積しています。多くの会員の参加、協力をお待ちしています。



ハイキングコース最後に見た新緑の豊英島



ホテイ岬干潟からの眺めも好評でした